

平成 28 年（2016 年） 7 月 27 日

蘇南高等学校 夏季休業前全校集会挨拶

皆さん、あらためまして、こんにちは。

○1 年生の入学式の前日、4 月 5 日(火)の 1 学期始業式に 2, 3 年生に対してこんなミッションをお願いしましたね。覚えていますか？

□対面式で蘇南高校の挨拶の手本を新入生に見せてください。と。

□皆さんは実にすばらしく新一年生に挨拶の手本を見せてくださいました。
最高にうまくいきましたね！ 嬉しかったです！！ 君たち最高！！

☆そのミッションと一緒に重点的に取り組んでもらいたいことを 3 つお話ししました。皆さんはもうこれっぽっちも覚えていないと思いますが。

※一つ目は、

私は新 3 年生、新 2 年生、そして入学してくる新 1 年生の皆さんと先生方と協力して魅力ある蘇南高校にしたいのです。それには「皆さんが先生から与えられるのを待つのではなく、自分たちで考えて学校環境を改善したり、自ら求めて勉強をしてほしいわけです。」「先生が与えてくれるから」という受け身ではだめということ。

※二つ目は、

「自分の言葉で考えて、自分の言葉や文章で表現する力」をつけてほしいと思います。そして各行事で「今年以上に感動する」素晴らしい年にしてほしい。

※三つ目は、

「おはよう」「こんにちは」「さようなら」や「ありがとう」「すいません」「失礼します」の言葉が素直に口からでてくること。その笑顔と挨拶が、新入生も引き継いで欲しいこと。

※そして、常々の挨拶の中で「どうせやるなら楽しく」と唱えてきました。

皆さんはきっと覚えていないと思いますが、きっと自覚がないところでこれらを実行してくれたと思います。今日皆さんをみるとまさしく、私の願いが実現されており、眩しいくらい成長した姿をみて本当に嬉しく思います。

これまでも振り返りますと、部活動では、3 年生の下嶋ほのかさんと 2 年生の津野琴音さんのペアが岡山で開催されるインターハイ出場を果たしました。二人の努力はもちろんですが、彼女たちを支えたバドミントン部の皆さんにも敬意を表します。全国大会の感動を味わってきてください。健闘を祈ります。

そして蘇峡祭が成功裏に終わりました。

閉祭式でも申しましたが、今年 3 年生の頑張りとリーダーシップが本当に際立っていました。2 年生もすごく頑張ってくれましたし、1 年生も協力的で素晴らしいかったです。そして何よりなのは卒業生が沢山蘇峡祭を見に来てくれた

ことです。今年の蘇峽祭の成功を見て感じて、初めて昨年の自分たちの蘇峽祭の成功を感じてくれたと思います。

さて、1，2年生の皆さんは、蘇峽祭を終えた後、3年生の雰囲気が、ガラッと変わったことに気付いていますか。3年生の様子を見ているといよいよ学年全体が進路モードに突入したことがうかがえます。これも蘇南高校のDNAなんです。このような学校の雰囲気を是非とも2年生や1年生に受け継いでほしいものです。

さて、今日は私の教え子のお話をしましょう。

テスト勉強の時にノートをまとめ直したり、何度も何度も書いて覚える。暗記するためのカードを作る等々は皆さんに是非経験してほしいと思います。

私のクラスの教え子は中学校から高1までの長きにわたり、テスト前になると「何とかなるさ!」「今回は部活で疲れたから」「先生の授業が分からない」等々怠けている自分のせいにすることなく、言い訳ばかりして、テストや成績が帰ってきた時だけ少し反省はするものの、のど元過ぎれば熱さをわすれて、だらだらとした生活を送っていました。

彼もそうはいっても流石にそんな自分に嫌気がさして、「杉さん俺がんばるから見ていて!」と宣言しました。担任である私がノート作りの大切さを常々訴えていたこともあり、彼は中学校の時に先輩に見せてもらった社会科のノートを思い出して、ノートをまとめ直す行動を起こしました。2学期の中間テストではノートをまとめたところでテストとなり、いつものひどい点でしたが、2学期の期末では初めて70点という点数を取りました。

その後この経験は他教科まで及び、3年生では「杉さん俺は自分で決めた数教科は90点以上取る」と担任の私に宣言して実行しました。

彼が言うにはテスト範囲の教科書内の内容は書いて書いて、それでも覚えられないものはカードを作って覚えたようで。油性のボールペンが1週間で1.2本を空にしたそうで、空のボールペンの束はいくつにもなったそうです。それが実は最高のお守りにもなったそうです。

或る時ふと彼は気づいたことがあったそうです。親が「勉強しろ!」と言わなくなったそうです。「逆に無理するな!早く寝ろ!」という言葉かけになったそうです。先生への質問も増えだし、職員室には彼の姿が当たり前になり、色々な先生から声をかけられ、冷やかされたことや、苦手教科の先生がこれ読んでみなよと本を貸してくれたことが最高にうれしかったと語ってくれました。

卒業後には、杉さんの言うように、努力をしていれば、右肩上がりで成績が向上するというのは本当になかった。努力していても成績は上がったたり下がったりの連続で、めげそうになったけど、努力しているとある時ふと理解することが出来た。この喜びは最高だったと。加えて「努力していると、自分がいかにたくさんの人に支えてもらっているかが分かった」とポツリと語ってくれました。

私はこのような教え子の変化を通して皆さんに「**せめて勉強においては**」是非とも努力して、その努力が報われる体験を積んでほしいと願っています。

なぜ「せめて勉強においては」と言うと、私が思うに、学校を出た後の人生においては実はどんなに頑張っても頑張ってもうまくいかない時があります。むしろそんなことの連続だと思います。その辺のお話は別の機会でしましょう。

☆最後に皆さんにお願いしたいことがあります。

○中には4月から今日までで相当疲れたという人もいるでしょう。そういう人は、まずは、ひとやすみして元気を取り戻す良い休暇にしてください。

○自分の可能性を伸ばすには、自分の可能性を「大切にすること」が必要です。

可能性にも命があります。きちんと水をやって、栄養を与え、じっくり慈しんで育てることによって初めて「風雪に耐える」ほどの強さを持ちます。この水や栄養は「読書」にあたるとも言われます。本をよんでね。

○そして1つ宿題！「橋とかトンネル」には入口と出口があります。

①どう見分けるのか？ ②その基準は何か？

では、皆さん、夏休み明けの8月25日(木)に元気に会いましょう。みんなにとって楽しげに、笑顔と笑いがいっぱいの夏休みとなることを祈っています。

今日も長いお話をしっかり聞いてくれてありがとう！

最後にもう一度、合言葉です！「どうせやるなら楽しく！」

以上